

(注)2 ページ目はこの位置が最上段となります。

資源・素材学会北海道支部講演要旨作成要領

石狩コールマイン 砂川 花子, 北見大・工 北見 太郎,
釧路工大・工 花咲 次郎, 北工大・工 江別 三郎

講演要旨は、提出された原稿をそのまま原版にし、オフセット印刷で作成します。原稿作成が不適切ですとオフセット原版になりませんのでご注意ください。

- (1) 原稿は原則としてワープロを使用して作成する。
- (2) 用紙レイアウトとスタイルは次の通りとする。
 - ・ 用紙サイズ: A4 版(白紙を使用)
 - ・ 左右余白約 25 mm, 上下余白約 25 mm
 - ・ 1 行約 25 字 × 約 48 行, 2 段組(中央約 6 mm あける)
 - ・ 文字サイズ: 9 ポイント程度
- (3) 表題, 副題, 所属(機関・会社名等), 著者名は上から 3 cm 程度の範囲内に 1 段組に入れる。ただし, 表題・副題は, 上から 8 mm あけて中央寄せで書く。所属・著者名は右寄せで記入する。なお, 所属はできる限り略記する。
- (4) 本文は, 著者名を記入した次の行を両段通して空白とし, 左段から始める。
- (5) 図表は, 適当な位置に, はみ出さないように貼り込む。
- (6) 枠は用紙に書き込まない(残さない)。欄外には何も書かない。
- (7) 原稿の長さは, 原則として **2 ページ**とする。
- (8) その他, 執筆要領は資源・素材学会「投稿要領」に準拠する。
- (9) ページ番号などは本支部で入力する。

(注)この位置が最下段となります。

【図表の例】

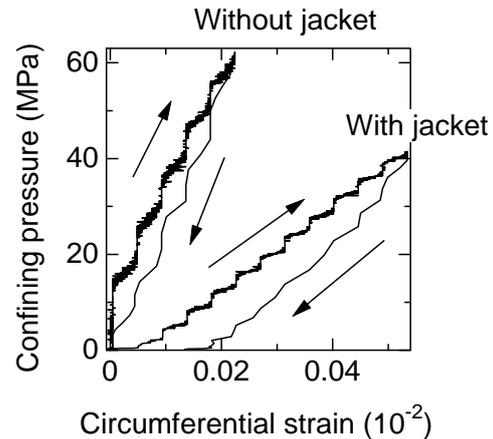


図 1 封圧と周ひずみとの関係におけるジャケットの影響(アルミニウム製供試体), 封圧一周ひずみ線図が滑らかでないのは周ひずみの分解能を約 5×10^{-5} に設定したため

表 1 封圧一周ひずみ線図の傾き

C_J (with jacket)	C (without jacket)	C_E (elastic solution)*
88.5 GPa	228 GPa	199 GPa

* $E / (1 - 2\nu)$:ここで E と ν はそれぞれヤング率とポアソン比

(注)この位置が最下段となります。